

【2022年度の活動報告】

コロナ過以降、実質全国規模の大会を含め中止が相次ぎ雪合戦自体が停滞した時代となりました。

組織的分裂の中でのこともあり、普及含めてすべてが停止に近い状況が続いており雪合戦の危機とも言える時代です。

そんな中での選手会活動としてクラウドファンディングにより普及用の小冊子を制作しました。選手会の監修として地区代表の意見など取り入れています。これは選手会チーム代表へ発送し、今後当面、全国での活用の要望に応えることが可能です。

【雪合戦のススメ 普及版小冊子】

活用事例としては、選手会メンバーに委託したかたちですが、

- 札幌では昨年度ノホロの丘小学校で採用された3学期の雪合戦授業が引き続き継続し、雪合戦のススメ小冊子が教材として活用いただきました。
- 札幌で3月に実施した小学生雪合戦大会でも参加チームへ配布しました。
- 今年度も大学での活動を継続し、毎年、雪合戦人を輩出している室蘭工大雪合戦部と早稲田雪合戦の会へは新入部員勧誘用に提供しています。『雪合戦のススメ』初版分を希望数送付しています。※写真
- 同じく地域の活動を継続している岩手釜石、岡山浅口スポーツクラブへは希望数を提供しています。

【普及版小冊子:雪合戦のススメ在庫500冊】 選手会メンバーの活動に進呈します。

選手経験者による、こどもから大人まで体験～普及という活動が可能であることですが、なかなか通年の活動は用具や場所など難しい現実もあるため、スポーツチームへの勧誘など引き続き可能な範囲での普及をお願いしたいところです。

【日本雪合戦連盟の活動停止経緯と今後について】

- 当初の声明文の意思表示を引き続き継承し、組織の一本化とルールを統一を要望してきましたが、組織が事実上消滅したのか正式な確認が取れていない状況です。在籍している島根、広島、四国、群馬、富山の県連も同様に日連事務局との連絡が着かない状況と確認しました。(2023年4月現在)結果により今後の活動目的を検討したく思います。
- 年度末に選手会の確認を経て、書面で日本連盟千田会長へ状況を確認していますが、回答はありませんでした。
- 追記：2022年6月12日付け
昭和新山 国際雪合戦連合ホームページより
福島県雪合戦連盟が国際雪合戦連合加盟

審判証更新申請手続きに対して施行されず、連絡も取れず更新料の返却もなかった為。

【選手会の今後について】

連盟組織が分裂後、10年近くあゆみよりが見られないなかで、2017年に選手有志で立ち上げたのが日本スポーツ雪合戦選手会です。

このコロナ禍の中での停滞で大会開催も活動も停滞している中で、逆にリセットできる機会とも、とらえています。

- 当初の声明文の意思表示を引き続き継承し、組織の一本化とルールを統一を要望してきましたが、組織が事実上消滅したのか正式な確認が取れていない状況です。今後の活動目的を検討したく思います。

- 各連盟、チームを通じて、練習情報など雪合戦に関わる情報を発信し、全国のチームが共有していけるようにします。

- 現在、入会しているチーム数は66チーム71名(希望によりチーム2名まで登録)
うち、発起人メンバーは20名です。

北海道、東北、関東、中部、西日本の5つのエリアにわけ、地区の代表1名を兼ねています。
入会希望チームの勧誘もよろしくお願ひします。



QRコード 【選手会ホームページ】
全国の主要大会、連盟、チームのサイトへ
リンクしています。